

平成27年度

# 事業報告書

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日

愛知県公立大学法人

## I 大学の概要

### (1) 現況

#### ① 法人名

愛知県公立大学法人

#### ② 所在地

長久手市茨ヶ廻間 1 5 2 2 番 3

#### ③ 役員の状況

理事長 鮎 京 正 訓

副理事長 2 名

理事 3 名

監事 2 名

#### ④ 大学の概要

##### ○ 学部等の構成

##### ・愛知県立大学

(学部)

外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部

(研究科)

国際文化研究科、人間発達学研究科、看護学研究科、情報科学研究科

(全学教育研究組織)

入試・学生支援センター、教育支援センター、教養教育センター、

学術研究情報センター、地域連携センター、看護実践センター

##### ・愛知県立芸術大学

(学部)

美術学部、音楽学部

(研究科)

美術研究科、音楽研究科

(全学教育研究組織)

芸術教育・学生支援センター、芸術創造センター、芸術情報センター、芸術資料館

##### ○ 学生数及び教職員数 (平成27年5月1日現在)

##### ・愛知県立大学 (新・旧)

学部学生 3, 2 8 3 名

大学院学生 2 1 9 名

教員 2 2 0 名

##### ・愛知県立芸術大学

学部学生 8 1 1 名

大学院学生 1 7 0 名

教員 8 7 名

##### ・法人事務局

職員 1 8 6 名

## (2) 大学の基本的な目標等

### ① 愛知県立大学

愛知県立大学は、平成 21 年 4 月に当時の愛知県立大学と愛知県立看護大学を統合し、「豊かな人間性と高い知性を備え、かつ、国際性、創造性及び実践力に富む有為な人材を育成する」ことを目指した新愛知県立大学としてスタートした。現在は、長久手キャンパスと守山キャンパスを合わせて 5 学部 10 学科と大学院 4 研究科から構成されている。

#### ○ 愛知県立大学の理念

- 1 21 世紀の「知識基盤社会」において、教員と学生が相互に啓発し合いながら「知の拠点」を目指す。
- 2 「地方分権の時代」における公立の大学として、良質の研究とそれに裏付けされた良質の教育を行い、その成果を社会に還元する。
- 3 「成熟した共生社会」の実現を目指して、教育研究と地域連携を進める。

### ② 愛知県立芸術大学

芸術は、太古から人間の暮らしに潤いを与え続け、常に人間の歴史とともにあった。人間は、芸術によって、自己を革新し、硬直する人間の思考を柔軟なものにしてきた。そして、優れた芸術は人間に知的な飛躍をもたらすものである。

愛知県立芸術大学は、独自の豊かな文化・芸術の伝統が育まれてきた愛知県に創設された「芸術の場」であり、当地域の芸術文化を育み、県内外に発信していくことが求められている。そのために本学は、開学以来培ってきた歴史を継承し、さらに発展させていく必要がある。

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また、愛知が生んだ芸術文化の拠点として、地元愛知はもとより国際的にも開かれた芸術文化の核となることを目指し、大学の理念を次のとおりとする。

#### ○ 愛知県立芸術大学の理念

- 1 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化に携わる優れた人材の育成を目指す。
- 2 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指す。
- 3 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指す。

## II 平成27年度事業実績

第2期中期計画3年目となる今年度は、中期計画88項目について取り組んだ結果、教育研究活動をはじめ2大学の管理運営全体について、順調に年度計画を実施した。なお、大項目ごとの特記事項は、以下のとおりである。

### 1 大学の教育研究等の質の向上

#### 1-1 愛知県立大学

##### (1) 教育

- 入学者選抜
  - ・外国語学部引き続き、看護学部にも全国枠推薦入試の導入を決定（28年度入試～）
  - ・オープンキャンパスのプログラム等の工夫により、過去最多の来場者数を記録
  - ・外国語だけで過ごす「イマージョン合宿」や各学部単位のミニオープンキャンパスの実施
- 学部・大学院教育
  - ・教養教育新カリキュラムの検証・評価のための科目群会議を開催
  - ・英語授業の受講学生や英語担当教員向けの授業用ホームページの開設
  - ・全学学生を対象とした英語・諸言語のe-Learningのガイダンス・講習会の実施
  - ・「愛知人文社会ルネッサンス」と称した学部プロジェクトの立ち上げ（日本文化学部）
  - ・時代を先取りした設備を備えた「次世代ロボット研究所」の建設（情報科学部）
  - ・学部・大学院との一貫した実践型教育に向け、第一線の通訳実務者を採用、「通訳翻訳研究所」の設立を決定（国際文化研究科）
  - ・生涯発達研究所事業、スクールソーシャルワーク教職員研修等における教育と福祉両分野の専任教員協働による取組の推進（人間発達学研究科）
- 学生への支援
  - ・図書館内にグループ学習コーナーを整備
  - ・新たに名古屋市交通局との連携による学生自主企画研究テーマを決定
  - ・国内外の大学との学生交流プログラム「天の川プロジェクト」の実施
  - ・新たに米国の非営利教育機関SAFを含む3つの大学・機関との協定を締結
  - ・地元優良企業を中心に学校推薦による就職枠を増加（H26:4件→H27:12件）
  - ・学生の主体的な学びを促すための奨学制度「はばたけ 県大生」を新設

##### (2) 研究

- ・学長特別教員研究費による研究支援の継続実施
- ・研究者データベースの運用開始
- ・外部コンサルタントによる科研費申請支援の実施（申請率H26:88.8%→H27:89.3%）

##### (3) 地域連携・貢献

- ・愛知県教育委員会との高大連携事業「知の探究講座」の実施
- ・名古屋市立大学との連携による公開講座の開催
- ・認定看護師教育課程、看護職を対象とした研修会・個別指導の実施
- ・「医療分野ポルトガル語・スペイン語講座」が「平成28年度職業実践力育成プログラム」に認定

## 1-2 愛知県立芸術大学

### (1) 教育

- 入学者選抜
  - ・28年度より新たに総括係の設置を決定し、全学広報の体制を強化
- 学部・大学院教育
  - ・アーティスト・イン・レジデンス事業による学生への専門・実技教育等の実施
  - ・「特別講座」・「試演会」など新音楽学部棟の新環境を活かした実践的な講座の拡充
  - ・美術研究科における副指導教員の配置を決定
- 学生への支援
  - ・新たに留学ガイドブックを作成
  - ・県内芸術系6大学による「芸術学生のための合同企業説明会」の実現（41社、学生411名参加（うち愛知芸大131名））
  - ・障害者差別解消法を踏まえ、学生相談支援要員1名を新たに配置
  - ・奨学寄附金により学生の海外渡航を支援する新たな制度を創設

### (2) 研究

- ・名古屋フィルハーモニー交響楽団との協定締結による美術・音楽両分野での相互交流を新たに実施
- ・芸術活動の発信と50周年事業の財源拡充のため、本学初の取組となる”愛芸50オークション”を開催（来場者336人（7日間）、落札総額約1,400千円）
- ・科学研究費補助金及びその他の助成金の申請件数が大幅に増加（H26:25件→H27:49件）

### (3) 地域連携・貢献

- ・一般財団法人神戸財団との共催によるセラミックデザインコンペティションを企画、運営
- ・あいちトリエンナーレ2016芸術大学連携プロジェクトとして名古屋芸術大学、名古屋造形大学との三大学合同展覧会等を実施
- ・創立50周年記念事業に向けた演奏会・展覧会等の企画
- ・文化財保存修復研究所の竣工（11月）、研究所による一般向け講座の開催

## 2 法人運営の改善

- ・法人化後初の取組として、全事業に対する事業計画書の提出依頼、全部署・教員へのヒアリングを行い、財源捻出、重点事業への再配分を実施
- ・「職員英語力向上制度」による講座（5名）や短期海外研修（4名、中国・モンゴル・タイ）の実施
- ・27年度重点方針・チャレンジ計画発表会を3キャンパスで開催

## 3 財務内容の改善

- ・「愛芸50オークション」等の実施により“愛芸50基金”の27年度末時点寄附金総額は累計約56百万円に到達
- ・受託研究費や科学研究費補助金等を含めた外部資金の獲得

[単位：件／千円]

区分	年度	県立大学		芸術大学	
		件数	金額	件数	金額
奨学寄附金 (利子含む)	25	9	11,600	6	4,205
	26	12	12,901	293	39,453
	27	11	9,200	426	36,421
受託研究費	25	1	210	4	6,666
	26	3	4,492	8	11,410
	27	5	5,446	10	12,139
共同研究費	25	12	9,823	1	5,000
	26	13	11,713	1	4,482
	27	12	11,090	1	2,500
科学研究費 補助金等	25	153	167,202	8	7,969
	26	155	143,373	9	13,866
	27	149	130,071	11	13,433
受託事業費等	25	3	1,782	7	4,168
	26	2	2,995	13	13,523
	27	3	3,556	11	13,997
その他補助金	25	4	86,441	0	—
	26	4	77,892	3	1,700
	27	5	67,976	10	3,540
計	25	182	277,058	26	28,008
	26	189	253,366	327	84,434
	27	185	227,339	469	82,030

注1) 科学研究費補助金等の金額については、当該年度の分担金相当額を含めた実受入金額とし、転出及び他機関へ送金する分担額は除く。

注2) 金額については、千円未満を切り捨て

#### 4 自己点検・評価及び情報の提供

- ・産民学協働プロジェクト「あいちものづくり・学生共同プロジェクト」の推進（県大）、文化財保存修復研究所による一般向け講座の実施（芸大）
- ・創立50周年記念事業の企画、「愛芸50オークション」、ホームカミングデーの実施（芸大）

#### 5 その他業務運営

- ・耐震改修・機能回復整備工事の開始、新デザイン棟の基本設計への協力（芸大）
- ・教室の有償貸出の試行、本格実施に向けた検討開始
- ・障害者雇用促進のため、「業務支援室」を新たに設置（7月、7名（リーダー1名含む）雇用）
- ・情報リテラシー講習会やeラーニングによる情報リテラシー研修の実施

### Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画

#### 1 予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,826	4,802	△ 24	
自己収入	2,787	2,796	9	
授業料及び入学金検定料収入	2,659	2,663	4	
雑収入	128	133	5	
受託研究等収入及び寄附金収入	266	200	△ 66	
目的積立金取崩	650	545	△ 105	
計	8,529	8,344	△ 185	
支出				
業務費	7,645	7,192	△ 453	
教育研究経費	1,304	1,254	△ 50	
一般管理費	1,002	856	△ 146	
人件費	5,339	5,081	△ 258	
施設整備費	617	618	1	
受託研究等経費及び寄附金事業費等	266	183	△ 83	
計	8,529	7,993	△ 536	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

## 2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
費用の部	7,788	7,492	△ 296	
經常費用	7,788	7,492	△ 296	
業務費	6,606	6,387	△ 219	
教育研究経費	1,191	1,157	△ 34	
受託研究費等	74	49	△ 25	
人件費	5,341	5,181	△ 160	
一般管理費	310	385	75	
財務費用	44	40	△ 4	
減価償却費	827	679	△ 148	
臨時損失	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
収入の部	7,788	7,793	5	
經常収益	7,788	7,793	5	
運営費交付金収益	4,826	4,801	△ 25	
授業料等収益	2,416	2,474	58	
受託研究収益等	207	159	△ 48	
財務収益	2	1	△ 1	
雑益	167	167	0	
資産見返運営費交付金等戻入	133	168	35	
資産見返物品受贈額戻入	37	23	△ 14	
臨時利益	0	0	0	
資産見返物品受贈額戻入等	0	0	0	
純利益	0	300	300	
目的積立金取崩	—	36	36	
総利益	0	337	337	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

### 3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
資金支出	16,789	18,649	1,860	
業務活動による支出	7,239	6,848	△ 391	
投資活動による支出	8,796	10,647	1,851	
財務活動による支出	522	527	5	
次期への繰越金	233	627	394	
資金収入	16,789	18,649	1,860	
業務活動による収入	7,861	7,649	△ 212	
運営費交付金による収入	4,826	4,802	△ 24	
授業料及び入学科検定料による収入	2,659	2,544	△ 115	
受託研究等収入	161	47	△ 114	
寄附金収入	46	46	0	
補助金収入	—	70	70	
その他収入	169	140	△ 29	
投資活動による収入	8,073	10,301	2,228	
前期よりの繰越金	856	699	△ 157	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

#### IV 短期借入金の限度額

該当ありません。

#### V 重要な財産の譲渡、又は担保に供する計画

該当ありません。

#### VI 剰余金の使途

該当ありません。